令和元年度事業計画

1. 井川の未来プロジェクト
2. 協力体制の確立

井川住民の希望や考え方を優先し、行政の支援が得られるように意見調整するのが当面の我々の使命であると考える。そこへ専門家の意見が反映されるように工夫する必要がある。

　　　　　・長島吉治氏（ヤマエイ長島建設社長）

* 森竹史郎氏（井川森林組合長）
* 一般社団法人井川振興会（栗下浩信氏、滝波伸太郎氏）
* 静岡市（静岡市企画課、中山間地振興課、環境創造課）
* 静岡県地球温暖化防止活動推進センター
* 静岡県経済産業部エネルギー政策課

1. 再生可能エネルギー地産地消推進事業（県補助金公募）

* 森林資源・流木—木材チップ工場可能性調査
* 水資源　　　　—小水力発電可能性調査

1. 映写会「おだやかな革命」（渡辺監督作品）

　・　いくつかのエネルギー地産地消成功例のビデオ。

　・　井川住民を対象に試写企画

　・　６月に静岡市街で映写会予定あり（詳細後日）

1. 井川未来ビジョン検討…。。。。。井川山郷創生構想（仮称）

構想をスケッチに展開し、可視化する。

* 癒しと安らぎの里構想：温泉を引く
* 西山平に登山観光基地を建設：
* 大井川鉄道駅延長構想（西山平下まで）など

いくつかの構想はあるが、もっと煮詰める必要がある。

　　　・毎日新聞コラム“余禄”から、

　　「地域の未来は住民自身が真剣に考えないと暮らし

　　　の存続すら難しい人口減少時代である」。

1. 川根ネイチャーガイド養成プログラム
2. 樹木学：講師：飯尾淳弘氏（静岡大准教授）

日程：５月２５日：山犬段林道沿い現地研修

狙い：主要な樹木の説明解説

募集：１５名程度

費用：３０００円（テキスト代込み）

1. 地形・地質学：講師：村松　武氏（飯田市美博学芸員）

日程：未定（継続実施要望）（詳細後日公表）

③鳥類・昆虫学：講師：杉本　武氏

日程：未定

1. 川根ガイド協会（仮称）結成支援協力

千頭山の会、エコティー川根等に参加を求め、

必要とあらば井川山岳会にも協力を求めて、

ネイチャーガイド、山岳ガイドを登録し、規約・定款等を定めて、料金体系も明確にする。本部は寸又峡の山岳図書館に置く。

1. 南アルプスファンクラブの法人化支援協力

仲間であるクラブの意向次第では、法人化に支援協力する。

1. 登山ルート整備計画（光岳）

①昨年に引き続き今年も後半部を実施する。後半部の難所は大根沢山からブナ沢への下降中の急斜面にあり。ここに残置固定ロープを取り付ける予定。更に、ブナ沢コルからの上りルートにも残置固定ロープを取り付ける。これら２本の固定ロープがあれば、一般縦走路としての安全が確保できる。

大根沢山から光岳の距離は１日行程でも長いが、樹林帯中なので、目印がはっきりすれば、問題はない。

完成すれば、光岳から直接に信濃俣経由大根沢山への縦走路が確保でき、三方窪の営林小屋（静岡森林管理署）を利用すれば、寸又峡への下降路として安全性が確保される。

②営林小屋の登山への利用について

役割を終えた営林小屋について、静岡森林管理署と話し合う。

③報告

ルート整備が完成すれば、山岳雑誌へ投稿し、一般者向け縦走路の新ルートの意義をPRできる。

1. 植林・育林（藁科川中流、坂の上左岸大平見）

①植林第２次計画（２０２０年３月１４、１５日：土、日）

　１haコナラ１５００本、他の広葉樹５００本、合計２０００

　本を４０名程度で（一人５０本）植える。

②育林第２次計画：２０１９年７月１３日（土）、９月７日（土）１回１０名程度で下草刈りを行う。９時公民館前集合。

1. 高校山岳部との懇談

“山は博物館だ”、“知的登山の勧め”のキャッチフレーズで、「南アルプス学概論」講座や講演会開催の意向等話し合う。

1. 対象高校：静高山岳部、清水東高山岳部、藤枝東高山岳部

　　　　　浜北高山岳部

1. 南アルプスPR講演会

日時：６月８日

講師：増澤武弘氏（静岡大客員教授）

　　　望月将悟氏（静岡市消防局）

主催：静岡県自然保護課、NPO法人静岡山の文化センター

静岡県の名だたる高校山岳部、ワンダーフォーゲル部に案内する。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上